

別紙 1

第 15 回（平成 18 年度）国土交通大臣賞<いきいき下水道賞>

≪水環境回復創出部門≫

下水道の整備による河川、湖沼、海域、水路、濠等の公共用水域の水質の大幅な改善や、処理水、雨水等の積極的活用により、良好な水環境が回復、創出されたと認められるもの。

- ・都市部の貴重な水緑空間へと役割を変えて―「都市下水路」から「水のみち」へ―（千葉県千葉市）
- ・ホテルとともに 11 年―地域とともに育む水環境―（東京都）

≪下水道有効利用部門≫

汚泥や下水熱、下水道施設など、下水道の有する資源、施設の積極的な有効利用により、下水道の果たし得る多様な社会的役割の拡大に寄与したと認められるもの。

- ・下水の熱エネルギーを利用した融雪事業（青森県青森市）

≪下水道普及啓発活動部門≫

下水道の普及啓発活動に積極的で、その活動が事業の推進、普及率や水洗化率の向上等に貢献していると認められるもの。

- ・わかりやすく！経費はかけず！～市民の意見を取り入れた新たな視点での財政広報～（神奈川県横浜市）
- ・藤沢市下水道 PR 活動（神奈川県藤沢市）
- ・市民一人ひとりの笑顔が見える浄化センター（静岡県静岡市）
- ・「堀川 1000 人調査隊 2005」との協働による堀川浄化の取り組み（愛知県名古屋市、名古屋堀川ライオンズクラブ）
- ・ホテルが飛びかう下水処理場を目指して（岐阜県土岐市）
- ・地元住民の創意工夫でよみがえった～大東第 12 水路～（大阪府大東市、大東市南新田地区、大東市立泉小学校）
- ・ひと・みず・さくらのイベント「やえざくらまつり」（兵庫県加古川上流区域下水道事業促進協議会、財団法人兵庫県下水道公社）